



小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【令和 6 年度】

小規模多機能ホーム陽だまり

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 6 日 (17:00 ~ 18 : 30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	10 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	7 人	人	人	10 人

前回の改善計画	アセスメントの回覧・共有はできているので、今後は疑問に思うことを都度質問し、疑問点の解消に努める。また、BS法を活用しスタッフで意見を出し合い共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	アセスメントを事前に出し共有はできており、疑問点等意見を出し合う機会を定期的に持つことができた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10			10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	7			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	1		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
アセスメントの際はできる限り答えやすい質問をするなどし寄り添い、配慮が出来ている。情報共有や家族支援等その都度案を出し、スタッフ全員で話し解決している。ケアを行う上で疑問に思う点、統一した方がよい点を意見を出し合うことが出来ている。初回支援時は本人、家族と積極的に声替えや気遣いができる。利用開始とえには必ずアセスメントを確認できる状況にある。また月 1 回のケースカンファレンスやカンファレンスで職員の意見を聞くことや情報の提供ができている方だと思う。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人や家族・介護者が望む支援が本人と家族の間で違いがあるためできていないことがある。ご本人様が発言できないこともあり家族の意向が強く反映されてしまう。ご本人様主体が難しいときもあり。ご家族様との関係づくりの面で難しいと思うと感じることあり。家族と会う機会や訪問することないスタッフはコミュニケーションをとることが難しい状況にある。本人の情報、介護者の状況などの情報量が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用開始のニーズ・開始に至った経緯・目的と訪問・通い・泊りの希望やできる限りの情報の共有と疑問点に対しての意見を抽出して利用開始当初の家族・スタッフの不安軽減のための情報の収集を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 6 日 (17:00 ~ 18 : 30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	10 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	ケースカンファレンスを実施した方のご希望を、当月特に注目して取り組んでいく。また、日常の会話の中で把握したご要望は記録に残し、職員で共有し、職員皆で協力し実現に向けて行動していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	定期的にケースカンファレンスを開催し、日常の会話の内容の変化の情報共有ができていた。要望の実現のために取り組むことができた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	5	3		10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	3		10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	3		10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	3	2		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
買い物行きたい。～を食べたいなど実現可能な目標の手助けができている。日々の買い物やドライブ等日々の活動で実施できるところは取り組んでいる。話し合いにより本人が求めている思いや気持ちに寄り添い行動している。外出機会もかなり増えている。ケースカンファレンスで本人の目標を情報共有し取り組みが出来ている。ケースカンファレンスな中身はとてもよいと思う。本人の声にならない声に耳を傾けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本当のニーズが何なのか? まで考える行動することが出来ていない。ケースカンファレンスに参加できていないスタッフの意見の取り込みが出来てない。ご御利用者様全員のゴールがわかっていない。カンファレンスで出た支援を行うが継続できていないと思う。内容の回覧が確実にできていなかったり見ていなかったりしていることもあり。日常会話の中の「～したい」がくみ取れているかが不明。自分たちの支援したいことと本人のしたいことが一緒とは限らない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ケースカンファレンスの開催を引き続き行い、期間を決めて「何がしたいのか? やりたいのか?」実現の目標を明確に立てていく。決めた期間に対しては必ずフィードバックをして振り返りを行う等内容の充実を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 6 日 (17:00 ~ 18 : 30)
3. 日常生活の支援	メンバー	10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	3 人	人	10 人

前回の改善計画	ケースカンファレンス時にはケアマネからケアプランの説明を以前より深く実施し、共有する努力をしていく。また、ご家族様の声を聞きながら、生活の全体を把握できるよう努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケースカンファレンスはできているがケアプランの内容の深い理解まで至っていないときもあった。家族の声が大きくご本人様の思いがわかりづらい時もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		4	6		10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	4			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	7			10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	2			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	5	1		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
状況に合わせた介護ができている。ミーティングで声にならない気持ちや感情をくみ取る努力をしており利用者様の情報の共有はできている。また本人の思いは何なのかを考えることもできている。ケアの統一について共有している。変化に対してその都度対応できるように職員間での共有ができている。体調変化や精神的な変化など細かな状況共有がなされている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアプランの方向性の話ができていないことがあり。以前の暮らし方などは把握できていない。声にならない部分の抽出ができていない。依然の暮らしが把握しきらない。ケアプランを見返していないため情報環境について頭に入っていない。本人の在宅時の過ごし方がなかなか知れることができないと感じる。話したがない本人・家族から情報を多く集めていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
アセスメントの充実を図る為に現在の全社協のアセスメントにセンター方式や私のアルバムの活用によりご本人様自身を知ることと視点をチーム全体で取り組む。常にすぐに記載できるような体制を取り話づらいご利用者様からはご家族様の声を聞きながら生活の全体を把握できるように努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 6 日 (17:00 ~ 18 : 30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	10 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4 人	6 人	人	10 人

前回の改善計画	まずは事業所近くに居住されるかたの地域との関わりの支援から始め、段々と範囲を広げるよう努めていく。また、ご本人や家族からの聞き取り調査を実施し、休みの日の過ごし方や、地域との関わりを調査し把握していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者様皆さんの地域の把握には至らず限られた方のみの方の地域とのかかわりだった。来ない日の把握があまりできていない方もいたりご家族様自身さえも把握していない方を。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	5	4		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	4	5		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		6	4		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1	7	2	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
訪問時に回覧板を回したり近所の方に挨拶をする。訪問時の等の本人の状況を職員間で共有している。ネットワーク推進会議などにご利用者の住まいの民生委員と会えて顔の見える関係性ができている。本人様の生活の流れや家族との関係性は知っており把握できている。本人の今の暮らしに必要な地域の資源・制度を知り不足部分を補えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
近所の方とお話をしたり共同して動くことは難しい。利用者の周囲の方や地域の方と接する機会がなく調査もできていない。地域の方との関係・民生委員との交流は本人様との接点がありません。難しい状況もある。ご利用者様が利用日でない日の一日の過ごし方について把握しづらく本人に聞くしかない状況。ご本人様もだご近所の方と会ったり話をいかなかったり人間関係の変化にすぐに気づけない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ゴミ出しや回覧板など小さなことから地域とのつながり作りに努め、日中の過ごし方の把握に「訪問」やご家族様からの聞き取り調査を実施し地域とのつながりづくりを本人・家族と一緒にやっていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 6 日 (17:00 ~ 18 : 30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	カンファレンス・ケースカンファレンスの質の向上を図っていく。また、ご本人様のニーズの把握や自己実現を支援するため活用できる地域資源の把握と、積極的な地域資源の活用をして行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	かなり踏み込んだ形でスタッフ自身から意見が出てくるようになってきた。地域とのつながりの希薄な方が多く活用するに至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	3		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	4			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	3			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域のボランティアや園児との交流などの地域資源の活用はできている。ニーズの把握をして臨機応変に「泊り」を入れてレスパイトケアや急な家族の用事、体調に応じた短縮利用等できている。ミーティングで共有ができ本人にあった対応ができている。利用者様とのかかわりについては日々の記録に残しているため変化に気づくことができている。帰宅願望や通所拒否がある方に対して訪問に切り替えるなどの対応ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ニーズに対し「通い」「訪問」の対応は可能だが部屋数の関係で「宿泊」に対しては応えることができないことがある。泊りがあったほうが良い方でも泊れていない。地域資源の活動ができていないし発掘もできていない。宿泊利用されている方が適切なのか疑問である。「地域資源」にはボランティアによる見守り、ゴミ出し等生活支援サービスがあるがそれらを使い支援できるかリサーチできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
センター方式のシートを活用し本人の「変化」に気づけるように都度書き留める習慣をつくるようにする。引き続きカンファレンス、ケースカンファレンスの開催を定期的に行う。保育園・ボランティア等地域資源の活用を継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施 日	令和 6 年 11 月 6 日 (17:00 ~ 18 : 30)
6. 連携・協働	メンバー	10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	5 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	地域や自治会との繋がりを今後も深めていくと共に、参加した職員から他職員への情報共有を実施していく。また、なるべく多くの職員の参加につながるよう声掛けしていく。 外部の方々や子供たちと交流できるよう開かれた雰囲気づくりに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	自治会や地域とのつながり、行事参加は出来ているが限られて職員での参加だった。子供との交流機会はかなり増えており御利用者様の笑顔が見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	10	0	0	0	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	10	0	0	0	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	8	2	0	0	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	5	5	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ボランティアや保育園等外部の方が訪れる機会ができている。自治会の草取りにも参加している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
イベントの参加ができていない。消防団の活動など参加できていない。地域行事の参加できていない。地域や自治会の行事に参加できていない。登録の方以外に近隣の方が事業所を訪れる機会が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
その他のサービス機関との会議の伝達を確実に引き引き続き、地域の高齢者の集いの場所づくりや子どもたちと交流できるように開かれた雰囲気づくりに努める。また地域の活動やイベントにスタッフが参加できる機会づくりに努める。ライフサポートワーカーの引き引きの活動参加の実施と活動内容をスタッフに伝達を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 6 日 (17:00 ~ 18 : 30)
7. 運営	メンバー	10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	6 人	人	人	10 人

前回の改善計画	ご家族交流・ご利用者様を通してのコミュニケーション機会を増やし、意見をいただき、いただいた大切な意見を基に具体的に反映出来るように行動する。 地域の方々とは、運営推進会議を通して、定期的に意見を聞き、その意見を施設運営に反映し、地域で必要とされる拠点を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議で積極的な意見を頂き地域の困りごとなどを共有することができ必要なことを理解することができた。ただしご家族交流機会が少なく意見を全体で話し合う場もあまりなかったがご利用者様の意見をきく機会は事業所への伝達は確実に出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	4	2	4		10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5	4	1		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	6	2		10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	7	1		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の方からの要請で草刈りやイベントに参加している。運営推進会議を定期的で開催し民生委員の方や家族の方から意見をきくことができている。意見を言いやすい環境づくりや関係性ができている。家族からの意見など職員間で情報共有している。運営推進会議などで家族からの意見を反映できている。今年度は家族への声掛けにより参加もできている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家族が参加できるイベントがすくない。地域との協働、学習会など参集できていない。地域の方からの意見や苦情がどのような内容なのかを把握できていない。事業所のあり方という点で話をすぐことがないように感じる。委員会でどんな意見が出ているのか知ることがない。地域に必要とされている「拠点」といわれる自信を持つことができない。利用者以外の地域の方からの困りごとに気づけない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域の方から必要とされる事業所つくりのために運営推進会議を通して定期的に意見をきく機会を設ける。出されて意見内容について職員へ伝達し全体としての地域への貢献に努める。 またご家族様・ご利用者様とのコミュニケーション機会を増やし、意見に対して共有するなどして具体的に反映していくように行動する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 6 日 (17:00 ~ 18 : 30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	10 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	2 人	人	人	人

前回の改善計画	地域連絡会や外部研修など、職員が外に出かけていく機会の継続と、参加した場合には学んだ事柄の他職員への伝達・共有を今後努力していく。 また施設内では、インシデントの共有・原因追及を行い引き続き事故防止に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域連絡会や外部研修に関しては参加する機会が多く伝達もできていたが浸透するまでには至っていない。インシデントの共有が図れており同じような事案が出ないように努めることができた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	9	1			10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	9	1			10
③	地域連絡会に参加していますか	4	3	1	2	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	6			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修は内外ともに参加できている。研修開催はしっかり周知されており参加もできている。カンファレンス等毎月定期的に開催できている。研修参加の機会もフォローも体制が整っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
インシデント・アクシデントがルースになっている部分がある。インシデント・アクシデントの話し合いができていない。地域連絡会の内容報告がはあくできていない。なかなか業務時間内で見える時間がない。「インシデント・アクシデント」認識・意識が低く危機意識が持てていない。動画研修を勤務時間内で見ることができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
引き続き外部研修や地域連絡会への参加を継続していき出た内容について所面だけでなく口頭で定期的なカンファレンスを通じて職員への伝達。共有をしていくようにする。 法人内の委員会と協力しインシデント・アクシデントが起きない体制つくりと発生した際の情報共有を行い内容の分析を行い再発防止に努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 6 日 (17:00 ~ 18 : 30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	10 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	2 人	人	人	10 人

前回の改善計画	身体拘束・高齢者虐待について定期的に身体拘束・高齢者虐待防止委員会を通しての研修への参加と、技術向上のため外部研修にも積極的に参加していく。 また、引き続き必要な方は後見センターとの連携に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束・高齢者虐待防止委員会による研修参加やプライバシーの保持の意識が全体として体制がとれていた。身体拘束廃止・虐待防止に対しての意識が個々としても高く保たれていた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2			10
②	虐待は行われていない	10				10
③	プライバシーが守られている	9	1			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	2			10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2				10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修を受けることで人権・プライバシーに再確認できている。動作をするときは声かけをし同意の上行うようにしている。ストレスを感じたときでも相談できストレスの軽減ができている。入浴時・排せつ時は特にプライバシーを守るように意識している。利用者様とのかかわりの中でもストレスを感じる場合がある場合は対応する職員を変えるなどできている。後見人制度を理解し実際に制度がスタートした方もいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者様への声掛けや介助方法・スピーチロック・「それダメ」と思うことがあってもなかなか口に出せない時がある。忙しい時、ばたばたしている時帰宅願望が強く玄関に行ってしまう方に対してつい口調が強くなっていたり「ちょっと待って」等スピーチロックをしてしまう。転倒リスクが高い方に対してつい「座っててください」と言ってしまう。 もう少し後見人制度の必要な方に対し活用できてない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
身体拘束・高齢者虐待について常に振り返り考える機会を持つようにし研修への参加を維持していく。身体拘束・高齢者虐待につながらないように事業所全体でストレスケアに努め身体拘束廃止・虐待防止委員会を通して様々なケースに対応できるように研修参加や情報共有に努めていく。 必要な方への成年後見人制度の活用にも努める。	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	3		1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	3		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		1

【上記 4 つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・多くの職員が関わり参加していることが分かった。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・ケースカンファレンスなど用語がわからないことがあった。
- ・求められていることがわからないときもあり。
- ・前向きに回答がなされている。

【今回の 9 つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・他の施設の自己評価の数件分見せて欲しい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・外からでは実態が分かりにくい中回答している。
- ・定期的にできている点は評価している。
- ・客観性が求められるが「よくわからない」と言い出せないこともある。

【改善計画】※後日記入

- ・地域の方が気軽に立ち寄れる「寄り合い」のような場所を作っていく。
- ・地域に根ざした施設になるように法人全体で取り組んでいく。
- ・できる限り多くのスタッフで御利用者様について話し合いの機会を作り、ご利用者様中心の施設サービスの提供を目指す。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・見学に行った際の雰囲気は良い。
- ・感染症の制限はあるが部屋に入れるし、面会もできるしスタッフの声掛けも丁寧で良いと思う。

【前回の改善計画】

利用される方々にはもちろんのこと、立ち寄られる地域の方々、ご家族、ボランティアの方々などすべての方に心地よく過ごしていただける開かれた場所を目指す。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・わからないことが多い。
- ・毎回来ることがあるわけではないのでわからない。
- ・詳しく状況がわからない中でアンケートに答える際に困る。
- ・他事業所と比較した際に明るく丁寧な対応をしてもらっている。

【今回の改善計画】※後日記入

利用される方、ご家族様にはもちろんのこと地域住民の方々、ボランティアの方、ネットなども見て興味を持たれた方にも入ってきやすい、そして心地よく過ごしていただける開かれた場所を目指す。情報の発信の形態も様々な手法を試していく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	職員はあいさつできていますか？	4		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・挨拶が元気があり気持ちがよい。
- ・広瀬の方でも他事業所を利用されている方も多いことから若いころから法人を知ってもらう機会が必要でもう少し宣伝をしていった方がいいと思う。
- ・地域にも6つの老人クラブがあるが会合の際に話をしてもらうことが良いと思う。
- ・施設の内容や詳しい説明、見学会を設けるのも良いのでは。

【前回の改善計画】

地域の方に認知していただけるよう、今後も地域貢献活動には積極的に参加し、地域の一員としての責務を果たしていく。
また、近くにあるからこそ最初の相談相手となれるように開かれた施設を目指していく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・ネットを使用される家族も多いためメールでの問い合わせもあり。メールでの相談やSNSのリンク付け等をしていったらいいのではないかな。
- ・以前開催されていた「市民公開講座」も良い会だったのでまた再開して欲しい。そうすることが地域に根ざすことができるのではないかな？

【改善計画】※後日記入

引き続き地域の清掃活動や行事等地域活動へは積極的に参加して地域の一員としての責務を果たしていく。地域の貢献活動の形態も検討し地域に還元できる活動ができるように努力する。

また近くにある事業所として頼りになる存在になるように開かれた施設を目指し広報活動にも力を入れていく。地域の民生委員の会議や老人会・サロンにも参加し勉強会や意見交換会を行う。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	2	1	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 事前告知で出来る限り参加はしてくれているが勤務の関係でむずかしいのでは？
- ・ いつも地域清掃には参加してくれている。

【前回の改善計画】

地域の清掃活動や敬老会、防災訓練などのイベントに職員が参加するのはもちろん、利用者様も地域のお祭りやイベントに参加できる機会を増やしていく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・ 「はんざりだし」という歴史ある文化的行事にも勤務の関係なのか今年は参加できなかった。
- ・ 敬老会の参加も今年度は難しかった。

【改善計画】※後日記入

勤務の調整などで職員交代で地域の清掃活動・敬老会・防災訓練などへ参加していけるように機会を作っていく。御利用者様自身も住み慣れた地域の行事・イベントに参加できるように支援をして住み慣れた自宅での生活を維持できるように支援していく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・個人情報もあり為相談事が難しい状況
- ・事例検討は施設側の取り組みを掲示してくれる形でしてほしい。
- ・実際地域の相談事がないと動くことが出来ない。

【前回の改善計画】

運営推進会議の特徴を生かし、施設側の近況報告だけでなく、地域の困りごとや心配事の実例検討を交えて取り組んでいく。

民生委員の方との話し合い、意見交換を行う機会をもち踏み込んだ形での支援に取り組む。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見

- ・母体の病院から相談がありケアマネージャーが相談支援をすることがある
- ・相談が無かった。
- ・ゴミ問題などどうしたらいいか回答が出ない案件もあり。

【改善計画】※後日記入

運営推進会議を定例の近況報告だけに終わることなく、地域に根ざした事業所として積極的に地域の困りごとや事例検討を行い対応と一緒に取り組んでいく。民生委員の方とも連携をとり意見交換・話し合い・勉強会を実施していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3		1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4		
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4		
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・災害時市からの受け入れの人数の問い合わせあり。
- ・災害時地域としては頼りになる。
- ・常日頃よりハザードマップを調べておく必要があります。

【前回の改善計画】

地域の防災訓練への職員の参加や事業所の防災訓練へ地域の方々の参加など非常時に相互に協力・協働できるように日頃より訓練と連携力と高めていく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・一次避難所だと自分で食料も持ち込みだから高齢者は大変なのではないか
- ・各自きちんとハザードマップを確認をしてほしい。
- ・一人暮らしの方など雨戸を閉めたり、安否確認をしに行ったりしている。

【改善計画】※後日記入

職員が交代で防災訓練に参加したり各自ハザードマップを把握し地域での役割を認識し、事業所の防災訓練へ地域の方々への参加していただき非常時の協力・協働できるように日頃より連携力を高め、訓練を一緒に行い「頼られる事業所」を目指す。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人誠井会	代表者	井料 率	法人・事業所の特徴									
事業所名	小規模多機能ホーム 陽だまり	管理者	秋丸 佳代子	食事には専門の業者に提供していただいていることで御利用者様に関わる時間的、労力的余裕があることでバランスの取れた季節感のある食事の提供などによりゆとりのある活動や対応が来ています。									
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計			
	人	人	3人	人	人	1人	人	5人	人	人			
項 目	前回の改善計画			前回の改善計画に対する取り組み・結果			意見		今回の改善計画				
A. 事業所自己評価の確認	より多くのスタッフでミーティングを出し合い、利用者様の方向を向いたサービスを提供するよう一丸となって取り組む。またこの地域に根ざした施設になるよう努力を重ねる。			定期的にカンファレンス・ケースカンファレンスを実施し積極的な意見が出ており同じ方向性で取り組み始めており一人一人の御利用者様に向かい合うことが出来る。			専門用語がありわかりづらいところもあり。常に前向きな回答がなされている。		地域の方が気軽に立ち寄れる「寄り合い」のような場所を作っている。地域に根ざした施設になるように法人全体で取り組んでいく。できる限り多くのスタッフで御利用者様について話し合いの機会を作り、御利用者様中心の施設会を作り、御利用者様中心の施設サービスの提供を目指す。				
B. 事業所のしつらえ・環境	利用される方々にはもちろんのこと立ち寄られる地域の方々の、ご家族、ボランティアの方々などすべての方に心地よく過ごしていただく開かれた場所を目指す。			環境整備は行えているが気軽に立ち寄る環境づくりが出来ていない。立ち寄る場所は難しいところもあり。立ち寄りやすくする為の方法を考えていかなければいけない。			見学に行った時の雰囲気は良かった		利用される方、ご家族様はもちろんのこと地域住民の方々、ボランティアの方々、ネットなどを見て興味を持たれた方にも入ってきやすい、そして心地よく過ごしていただく開かれた場所を目指す。情報の発信の形態も様々な手法を試していく。				
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方に認知していただけたら、今後も地域活動には積極的に参加し、地域の一員としての責務をはたしていく。また近くにあるからこそ最初の相談相手となるよう開かれた施設を目指す。			職員みんなが関わることが勤務の関係で難しく一部に限られているが今後はいろいろな機会に参加できるように勤務を調整し、より多くの職員が地域の方と触れ合える機会を作り顔の見える			地域清掃には毎回参加してもらい助かっている。もう少し地域で宣伝した方がいいのではないかと		引き続き地域の清掃活動や行事など地域活動へは積極的に参加して地域の一員としての責務を果たしていく。地域の貢献活動の形態も検討し地域へ還元できる活動ができるように努力する。ま				

	ていく。	関係性の構築に努める。		た地域にある事業所として頼りになる存在になるように開かれた施設を目指し広報活動にも力を入れていく。地域の民生委員の会議や老人会・サロンにも参加し勉強会や意見交換会を行う。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	地域の清掃活動は敬老会、防災訓練などのイベントに職員が参加するのはもちろん、利用者様も地域のお祭りやイベントに参加できる機会を増やしていく。	地域の清掃活動には参加でき敬老会・防災訓練には参加できない状況で今後は御利用者様の住んでいる地域の行事に参加する援助などをしていく必要があると感じた。	スタッフの方も勤務の関係でなかなか行事に参加できないのではないだろうか	勤務の調整などで職員交代で地域の清掃活動・敬老会・防災訓練などへ参加していただけるように機会を作っていく。御利用者様自身も住み慣れた地域の行事・イベントに参加できるように支援をして済安らた自宅での生活を維持できるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の特徴を生かし、施設側の近況報告だけでなく、地域の困りごとや心配事の事例検討を交えて取り組んでいく。	今年度はすべて対面で運営推進会議が開催しているが内容が単調ではなかったかと反省が残る。地域とのつながりなどもう少し深堀して地域にある事業所としての特徴を生かしていく必要があると感じた。	個人情報も壁があり相談事自体の抽出自体も難しいときがある。実際ご本人様より地域の相談事がないと動くことが出来ないジレンマがある。 ゴミ問題などどうしたらいいか回答が出ない案件もあり。支援に苦慮することもあり。	運営推進会議を定例の近況報告だけに終わることなく、地域に根ざした事業所として積極的に地域の困りごとや事例検討を行い対応と一緒に取り組んでいく。民生員の方とも連携をとり意見交換・話し合い・勉強会を実施していく。
F. 事業所の 防災・災害対策	地域の防災訓練への職員の参加や事業所の防災訓練へ地域の方々の参加など非常時に相互に協力・協働できるように日頃から訓練と連携力を高めていく。	今年度防災訓練に参加していただいたため法人の防災委員を中心に参加できるような体制づくりと防災訓練の協力体制も併せて作っていく必要を感じた。	災害に際して避難を判断すること難しいときもあり。 各自、我が事としてハザードマップを把握、確認して欲しい。一人暮らしの方の災害時の雨戸閉め、安否確認など必要なことは支援している。	職員が交代で防災訓練に参加したり各自ハザードマップを把握し地域での役割を認識し、事業所の防災訓練へ地域の方々にも参加していただき非常時の協力・協働できるように日頃より連携力を高め、訓練を一緒にを行い「頼れる事業所」を目指す。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人誠井会	代表者	井料 宰	法人・事業所の特徴															
事業所名	小規模多機能ホーム 陽だまり	管理者	秋丸 佳代子	食事専門の業者に提供していただいていることで御利用者様に関わる時間的、労力的余裕があることでバランスの取れた季節感のある食事の提供などによりゆとりのある活動や対応が来ています。															
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計									
	人	人	3人	人	人	1人	人	5人	人	人									
項目	前回の改善計画			前回の改善計画に対する取り組み・結果			意見			今回の改善計画									
A. 事業所自己評価の確認	より多くのスタッフでミーティングを出し合い、利用者様の方向性を向いたサービスを提供するよう一丸となって取り組む。またこの地域に根ざした施設になるよう努力を重ねる。			定期的にカンファレンス・ケースカンファレンスを実施し積極的な意見が出ており同じ方向性で取り組み始めており一人一人の御利用者様に向かい合うことが出来る。			専門用語がありわかりづらいところもあり。常に前向きな回答がなされている。			地域の方が気軽に寄り合い」のような場所を作っていく。地域に根ざした施設になるように法人全体で取り組んでいく。できる限り多くのスタッフで御利用者様について話し合いの機会を作り、御利用者様中心の施設サービスの提供を目指す。									
B. 事業所のしつらえ・環境	利用される方々にはもちろんのこと立ち寄られる地域の方々の、ご家族、ボランティアの方々などすべての方に心地よく過ごしていただける開かれた場所を目指します。			環境整備は行えているが気軽に立ち寄る環境づくりが出来ていない。立ち寄る場所は難しいところもあり。立ち寄りやすくする為の方法を考えていかなければいけない。			見学に行った時の雰囲気は良かった			利用される方、ご家族様はもちろんのこと地域住民の方々、ボランティアの方々、ネットなどを見て興味を持たれた方にも入ってきやすい、そして心地よく過ごしていただける開かれた場所を目指します。情報の発信の形態も様々な手法を試していく。									
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方に認知していただけるよう、今後も地域活動には積極的に参加し地域の一員としての責務をはたしていく。また近くにあるからこそ最初の相談相手となるよう開かれた施設を目指し			職員みんなが関わることが勤務の関係で難しく一部に限られているが今後はいろいろな機会に参加できるように勤務を調整氏より多くの職員が地域の方と触れ合える機会を作り顔の見える			地域清掃には毎回参加してもらい助かっている。もう少し地域で宣伝した方がいいのではないかと			引き続き地域の清掃活動や行事など地域活動へは積極的に参加して地域の一員としての責務を果たしていく。地域の貢献活動の形態も検討し地域へ還元できる活動ができるように努力する。ま									

	ていく。	関係性の構築に努める。		た地域にある事業所として頼りになる存在になるように開かれた施設を目指し広報活動にも力を入れていく。地域の民生委員の会議や老人会・サロンにも参加し勉強会や意見交換会を行う。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	地域の清掃活動は敬老会、防災訓練などのイベントに職員が参加するのはもちろん、利用者様も地域のお祭りやイベントに参加できる機会を増やしていく。	地域の清掃活動には参加でき敬老会・防災訓練には参加できない状況で今後は御利用者様の住んでいる地域の行事に参加する援助などをしていく必要があると感じた。	スタッフの方も勤務の関係でなかなか行事に参加できないのではないだろうか	勤務の調整などで職員交代で地域の清掃活動・敬老会・防災訓練などへ参加していただけるように機会を作っていく。御利用者様自身も住み慣れた地域の行事・イベントに参加できるように支援をして済安らた自宅での生活を維持できるようにする。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議の特徴を生かし、施設側の近況報告だけでなく、地域の困りごとや心配事の事例検討を交えて取り組んでいく。	今年度はすべて対面で運営推進会議が開催しているが内容が単調ではなかったかと反省が残る。地域とのつながりなどももう少し深掘して地域にある事業所としての特徴を生かしていく必要があると感じた。	個人情報も壁があり相談事自体の抽出自体も難しいときがある。実際ご本人様より地域の相談事がないと動くことが出来ないジレンマがある。 ゴミ問題などどうしたらいいか回答が出ない案件もあり。支援に苦慮することもあり。	運営推進会議を定例の近況報告だけに終わることなく、地域に根ざした事業所として積極的に地域の困りごとや事例検討を行い対応と一緒に取り組んでいく。民生員の方とも連携をとり意見交換・話し合い・勉強会を実施していく。
F. 事業所の 防災・災害対策	地域の防災訓練への職員の参加や事業所の防災訓練へ地域の方々の参加など非常時に相互に協力・協働できるように日頃から訓練と連携力を高めていく。	今年度防災訓練に参加していないため法人の防災委員会を中心に参加できるような体制つくりと防災訓練の協力体制も併せて作っていく必要を感じた。	災害に際して避難を判断することでも難しいときもあり。 各自、我が事としてハザードマップを把握、確認して欲しい。一人暮らしの方の災害時の雨戸閉め、安否確認など必要なことは支援している。	職員が交代で防災訓練に参加したり各自ハザードマップを把握し地域での役割を認識し、事業所の防災訓練へ地域の方々にも参加していただく非常時の協力・協働できるように日頃より連携力を高め、訓練を一緒に行い「頼られる事業所」を目指す。